

Mate 2005 第 11 回「エレクトロニクスにおけるマイクロ接合・実装技術」 シンポジウム論文募集について

主 催：(社) 溶接学会 マイクロ接合研究委員会
エレクトロニクス生産学会準備会

共 催：(社) 機械学会 電子デバイス／電子実装における信頼性に関する研究分科会，(社) 高温学会 加工・再生研究情報委員会，(社) 日本塑性加工学会 接合・複合分科会，レーザ加工学会，IMS プロジェクト環境対応次世代接合技術の開発，大阪大学 先端科学イノベーションセンター

協 賛：映像情報メディア学会，エレクトロニクス実装学会，応用物理学会，化学工学会，画像電子学会，軽金属学会，計測自動制御学会，高温学会，高分子学会，資源・素材学会，システム制御情報学会，情報処理学会，人工知能学会，精密工学会，電気化学会，電気学会，電気設備学会，電子情報通信学会，日本化学会，日本機械学会，日本金属学会，日本材料学会，日本シミュレーション学会，日本接着学会，日本セラミックス協会，日本塑性加工学会，日本顕微鏡学会，日本伝熱学会，日本非破壊検査協会，日本表面科学会，日本品質管理学会，日本複合材料学会，日本物理学会，日本分析化学会，日本溶接協会，表面技術協会，プラスチック成形加工学会 (協賛依頼中)

日 時：平成 17 年 2 月 3 日 (木)，4 日 (金)
パシフィコ横浜 会議センター
5 階 (小ホール，501，502)
横浜市西区みなとみらい 1 丁目 1-1
TEL：045-221-2121

開催主旨

日本のエレクトロニクス産業は，この 20 年間，高機能化，高信頼化，小型化，低コスト化の技術開発に支えられた新たな電子デバイス・部品を組み込んだ電子システム創成の下，日本の高度成長を牽引してきました。今後も日本が世界を先導し続けるには，生産技術を科学的に探求することはもちろんのこと，既存の学問領域，設計・生産技術などの領域を越えて，エレクトロニクスを取巻く科学技術，経営・生産システム，価値システム，などの広い範囲を取り込んだグローバルなオプティマイゼーションが必要になってきています。本シンポジウムでは，これら生産技術に関する最新の研究・開発に関する研究者相互の情報交換の場をより広くかつ定期的に持ち，生産の科学と技術の進展を促すことを目的として企画開催されます。

参加費：主催・共催団体加入会社：20,000 円
協賛学協会会員会社：30,000 円

論文口頭発表者：15,000 円
大学・国公立研究期間：10,000 円
学 生：5,000 円
その他：40,000 円

講演論文募集

左記主旨に従い，シンポジウムを開催いたします。つきまして，独創性に富むオリジナル講演論文を募集しております。各講演の発表時間は 20 分 (発表 12 分，質問 8 分)，発表件数は約 90 件を予定しております。投稿希望の方は下記の送り先まで，応募していただくようお願い申し上げます。

なお，本シンポジウムで発表されたすべての論文発表者には，別刷り 30 部を無料贈呈します。また，優秀な論文に対して，シンポジウム賞 (論文賞，奨励賞) の表彰制度も用意しております。

応募方法：平成 16 年 9 月 1 日 (水) 厳守

応募方法：次の必要事項を記載して，E-mail，FAX，郵送のいずれかで Mate 2005 事務局に送付して下さい。E-mail を利用できる方はできるだけ E-mail で送付していただけますようお願いいたします。

- (1) 発表題目 (和文と英文)
- (2) 著者名と所属先 (和文と英文)
- (3) 著者代表者の連絡先
- (4) 概要 (和文 120～150 字程度)
- (5) トピックス記号 (カテゴリー A～C の中から該当する記号を選んで下さい。

例えば，

レーザによる微細加工プロセスに関する研究

→ A-5，B-1

携帯機器創成を目的としたソルダリング部の信頼性の研究 → A-2，B-7，C-6

申込みを受理した後 1 週間以内に E-mail もしくは FAX で受理通知を送付させていただきます。受理通知が届かない場合は，Mate 2005 事務局にご確認して下さい。

また，論文採択につきましては別途，採択通知を 9 月末までに送付いたします。

論文原稿送付締切日：平成 16 年 11 月 19 日 (金)

論文様式概要

本文は日本語で，Figure Caption は英語で記述する。ただし，すべて英語で記述しても結構です。

○字 体：英語の字体 (フォント) は Times，日本語の字体は明朝体とする。

- 題 目：本文が日本語の場合，日本語と英語
（字サイズ：14 point，題目の字体は 等
幅明朝体またはゴシック体とする）.
- 著 者 名：本文が日本語の場合，日本語と英語
（字サイズ：9 point）.
- Abstract：英語（60 ～ 120 words）
（字サイズ：8 or 9 point）.
- 本 文：日本語または英語
（字サイズ：9 point），本文二段組.
- マージン：上：25 mm，下左右：20 mm.
- 用 紙：A4 白用紙.
- 図の説明：英語（図面は本文の後ろに並べてもよい）.
- ページ数：4 ページ または 6 ページ（奇数ページ
での仕上がりは禁止する）.
- なお，論文採択決定後，詳しい投稿規定を送付します．

<論文に関する問合せ先>

大阪大学 先端科学イノベーションセンター 高橋康夫
TEL：06-6879-4195 FAX：06-6879-4193
E-mail：takasy@crcast.osaka-u.ac.jp

<論文の送付先，事務に関する問合せ，連絡先>

〒101-0025 東京都千代田区神田佐久間町 1-11
（社）溶接学会 Mate 2005 事務局

Mate 2005 担当連絡先

TEL：06-6879-4166 FAX：06-6879-4166
E-mail：mate@casi.osaka-u.ac.jp

<シンポジウム URL>

[http://www.soc.nii.ac.jp/jws/research/micro/mate](http://www.soc.nii.ac.jp/jws/research/micro/mate/Mate%2005.html)
/Mate 2005.html

トピックス記号

カテゴリー A 工 法		カテゴリー B 研究・開発の観点		カテゴリー C 対象形態・製品	
A-1	マイクロ接合	B-1	プロセス	C-1	モジュール
	ワイヤボンディング	B-2	材料	C-2	パッケージ
	フリップチップ	B-3	機能特性	C-3	パワーデバイス
	COB, TAB	B-4	メカニズム	C-4	エネルギー変換素子
	その他	B-5	拡散現象	C-5	通信機器
A-2	マイクロソルダリング	B-6	界面構造	C-6	携帯機器
A-3	薄膜形成	B-7	信頼性	C-7	コンピュータ
A-4	厚膜形成（めっきなど）	B-8	品質	C-8	コンピュータ周辺機器
A-5	ビーム加工	B-9	シミュレーション	C-9	液晶ディスプレイ
A-6	エッチング	B-10	設計	C-10	プラズマディスプレイ
A-7	マイクロ加工	B-11	設備・機器	C-11	ビデオ
A-8	塑性加工	B-12	解析	C-12	自動車用電装品
A-9	接着	B-13	システム	C-13	エネルギー変換機器
A-10	光・電子アセンブリ	B-14	計測	C-14	その他
A-11	光インターコネクション	B-15	環境調和・リサイクル		
A-12	その他	B-16	その他		